

2022 年 4 月 1 日

フューチャーデザイン日本語学校

日本語教育機関の告示基準 第一条 四十四に基づく公表

各年度の課程修了の認定を受けた者のうち、大学等への進学者の数、入管法別表第 1 の 1 の表若しくは第 1 の 2 の表の上欄の在留資格(外交、公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者の数、日本語能力に関し言語のためのヨーロッパ共通参照枠(Common European Framework of Reference for Languages : Learning teaching assessment)(以下「CEFR」という。)の A2 相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明された者の数及び当該者の合計数について、修業期間の終期の翌年度の 6 月末までに地方出入国在留管理局に報告し、公表する。

2021 年度 結果:該当なし

以上

2022年4月1日

高松出入国在留管理局審査部門 御中

フューチャーデザイン日本語学校
校長 直井 信也

日本語教育機関の告示基準四十五号に基づいて、自己点検（学校評価）を報告いたします。

◎期間：2021年10月1日から2022年3月31日

◎評価基準

5：達成している 4：ほぼ達成している（改善の余地あり） 3：どちらともいえない
2：改善を検討・努力 1：改善が必要

◎各観点別の評価規準

(1)教育の理念・目標

ア	教育理念・目標は適切か	⑤・4・3・2・1
イ	理念・教育目標に合致したコースやカリキュラム設定をしているか	5・④・3・2・1
ウ	教育理念・目的が教職員間で共有され、改善に向け定期的に意見交換ができていますか	5・④・3・2・1
エ	教育理念・目的が生徒・保護者に共有されているか	5・④・3・2・1
オ	PDCAを行い、必要に応じて改善を加えているか	5・4・③・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 理念及び目標の共有にとどまり、PDCAは課題として残る		

(2)学校運営

ア	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営がなされているか	⑤・4・3・2・1
イ	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能しているか	5・④・3・2・1
エ	教育目標達成に必要な講師の知識、能力及び資質が生徒、保護者に明示されているか	5・④・3・2・1
オ	喫緊の課題対応と中長期の課題に向けた運営がなされているか	5・④・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 中長期の課題解決については、学生の日本語能力向上のシステム構築が最重要課題であるが、オンラインの授業により、一部プランニングにとどまっている		

(3)教育活動

ア	カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか。また、学生の能力に応じた授業・指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生の理解度を把握し、個に応じた指導を行っているか	5・④・3・2・1
ウ	学生の日本語資格取得（EJU, JLPT等）のための受験支援を行い、レベルにあった資格試験の受験を促しているか	5・④・3・2・1
エ	大学・大学院及び専門学校の進学先情報また就職先情報を積極的に収集し、学生の進路相談を十分に行い、適切な進路先が決定できるように支援しているか	5・4・③・2・1
オ	文化理解や、地域との共生のための活動は適切か	5・④・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 オンラインでの授業による評価のため、進学情報については対面での授業が開始されてからしっかりと取り組みたい。		

(4)学修成果

・評価規準

ア	授業の進度は適切か？説明はわかりやすいか？	5・4・③・2・1
イ	目標が適切・明確で、計画的に行われているか？	5・④・3・2・1
ウ	動機づけのための授業方法に工夫はみられるか？	5・④・3・2・1
エ	定期テストの実施など、知識の定着が計画的か？	⑤・4・3・2・1
オ	質問への対応等、個に応じた指導をしているか？	⑤・4・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 学生レベルに差があり、クラスによっては進度が遅く、授業計画を再考する必要がある		

(5)生徒支援

ア	学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか	5・④・3・2・1
イ	学生の在籍管理は十分機能しているか	⑤・4・3・2・1
ウ	健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
エ	保護者と必要な情報共有ができているか	5・④・3・2・1
オ	防災や緊急時の危機管理における体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 学習相談は授業後に、健康診断は来日後一カ月以内に準備済。		

(6)教育環境

ア	教育機関は教育施設として、適切な環境にあるか	⑤・4・3・2・1
イ	各教室は、生徒数に応じた環境で、授業に集中できるか	⑤・4・3・2・1
ウ	教育内容及び受講生数に応じた図書やメディアが整備され、	⑤・4・3・2・1

	常時利用可能であるか	
エ	視聴覚教材や IT を利用した授業, またオンライン授業が可能な設備や教育用機器等が整備されているか	⑤・4・3・2・1
オ	個別指導や相談に応じたスペースが確保されているか	⑤・4・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 教育環境に関しては達成レベルにある		

(7)入学者の募集・財務

ア	学生の受入方針は定められているか	5・④・3・2・1
イ	学生募集活動は、適正に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	適正な定員設定及、在籍者数、教職員数になっているか	5・④・3・2・1
エ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	⑤・4・3・2・1
オ	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5・④・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 学習進度を更に高めるために教員数の増員が必要。 財政基盤については中期的に在籍者数の確保が必要要件である		

(8)現職教育 (OJT)

ア	教員の指導力向上のための取り組みが行われているか。	5・④・3・2・1
イ	出口指導のための現職教育が行われているか	5・④・3・2・1
ウ	オンライン授業への取り組みの教員支援はあるか	⑤・4・3・2・1
エ	教育相談や生活指導について学ぶ機会があるか	5・④・3・2・1
オ	教案の共有など教員の協力体制が構築されているか	5・④・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 出口指導は来日後に実施予定。生活指導は、来日後、毎週1回、生活相談日を設定して実施予定。		

(9)法令遵守

ア	入学者の募集に当たり, 入学希望者に対し, 告示基準に定める事項に関する情報の提供を適切な方法により正確かつ確実に行っているか	⑤・4・3・2・1
イ	個々の生徒の単位時間ごとの出欠を正確に把握するための適切な措置を講じているか	⑤・4・3・2・1
ウ	生徒の在留期間並びに資格外活動の許可の有無及び内容を把握し, 出入国管理法令に違反しないよう適切な助言及び指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
エ	告示基準に基づく地方出入国在留管理局への報告を適切に行っているか	5・④・3・2・1
オ	告示基準に基づき, 記録, 届出のあった内容又は資料を適切に保存しているか	⑤・4・3・2・1

カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 告示基準の遵守は最優先課題であり、適切に常に行う必要がある		
(10)地域貢献・社会貢献		
ア	生徒に坂出(香川)で生活する意義を考えさせる機会はあるか	5・④・3・2・1
イ	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5・4・③・2・1
ウ	地域の催しに積極的に参加しているか	5・④・3・2・1
エ	公開講座など学校への地域開放を行っているか	5・4・③・2・1
オ	活動に、将来の日本や母国への貢献につながるものはあるか	⑤・4・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 来日後に坂出高校や商店街組合との交流を実施予定。オ)については、香川大学と連携予定。地域との共生は本校の教育理念であり、更なる積極的参加を推進していく。		

以上